11月3日（火曜日）「狭い門から入れ」

【新改訳 2017】

ルカ　13•22-30

「努力して狭い門から入りなさい。なぜなら‥‥入ろうとしても、入れなくなる人が多いのですから‥‥‥。」（24節）

主イエスは、同じ真理を何回か話され、その状況の中で違った表現を用いられたようです。マタイのほうでは、「‥‥‥滅びに至る門は大きく‥‥‥そこから入って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく‥‥‥それを見いだす者はまれです」（マタイ7•13、14）と続けられています。

神を信じ、永遠のいのちを望んで生きることは、安易なことではありません。多くの人々との歩みとは違う門と道を通ることになり、それなりの努力が必要です。しかし、それは自分の能力で頑張って、他人より良い成績で狭い門をパスする受験とは違います。他人との競争の問題ではなく、多くの人と同じようにしてきた、これまでの自分の考えと価格判断（名誉、財産、快楽などを幸福とする）と変えて、神に信頼し、神のことばで生きる道を選ぶということです。

～祈り～

主よ。「狭き門」を正しく理解し、そこから入ることができますように。そして、あなたの祝福を受ける者となれますように。

【学びのために】

マタイ 7•13、14 の「狭い門」とルカ 13•24 の「狭い門」の観点は、少し違っていると思われます。マタイのほうは、この世の二つの生き方の対比、ルカのほうは、入ろうとしても入れなくなる、多くの人が残される時が来ることに焦点があると考えられます。